



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場会社名 小林製薬株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4967 URL <http://www.kobayashi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 豊

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 グループ統括本社本部長 (氏名) 山根 聡

TEL 06-6222-0142

四半期報告書提出予定日 平成24年11月7日

配当支払開始予定日

平成24年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	58,253	△9.0	8,237	△23.1	8,830	△19.4	7,120	15.8
24年3月期第2四半期	64,023	△0.4	10,710	1.4	10,961	4.4	6,150	△2.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 7,921百万円 (26.8%) 24年3月期第2四半期 6,249百万円 (21.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	173.88	—
24年3月期第2四半期	150.19	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第2四半期	147,490	107,880	73.1	2,634.52
24年3月期	147,890	101,879	68.8	2,484.08

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 107,879百万円 24年3月期 101,719百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	35.00	—	43.00	78.00
25年3月期	—	39.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	39.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	132,000	0.6	20,000	3.6	20,900	4.0	12,500	6.6	305.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	42,525,000 株	24年3月期	42,525,000 株
----------	--------------	--------	--------------

- ② 期末自己株式数

25年3月期2Q	1,576,487 株	24年3月期	1,576,287 株
----------	-------------	--------	-------------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	40,948,595 株	24年3月期2Q	40,948,990 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(6) セグメント情報等 .....	11
(7) 重要な後発事象 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、東日本大震災後の復興需要などに支えられ、景気は緩やかに持ち直しつつあるものの、夏場の電力供給の懸念もあり、個人消費や企業活動は依然厳しく、先行き不透明な状況で推移いたしました。

そうした状況の中で当社グループは、経営理念である「人と社会に素晴らしい快を提供する」の精神を一層発揮すべきときと考え、顧客の潜在ニーズを満たす新製品やサービスの提供、市場の活性化を促す既存ブランドの育成、今後の成長事業への積極的な投資に努めてまいりました。

その結果、売上高は58,253百万円と前年同期と比べ5,770百万円(△9.0%)の減収、営業利益は8,237百万円と前年同期と比べ2,473百万円(△23.1%)の減益、経常利益は8,830百万円と前年同期と比べ2,130百万円(△19.4%)の減益となりました。四半期純利益においては7,120百万円と前年同期と比べ969百万円(15.8%)の増益となりました。

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

#### 家庭用品製造販売事業

当事業では今春、新市場の創造と既存市場の拡大に努めた新製品を15品目発売いたしました。なかでも、気軽に新しい香りが楽しめるお部屋用芳香消臭剤「Sawaday Happy (サワデーハッピー)」が好調に売上を伸ばし、業績に貢献しました。

既存品においては、女性保健薬「命の母」や洗眼薬「アイボン」、虫歯・歯周病の原因となる食べカスや歯垢を除去する歯間清掃具「糸ようじ」・「やわらか歯間ブラシ」、口中清涼食品「ブレスケア」などの売上が堅調に推移しました。

一方、天候不順の影響から、医薬品では水虫薬やあせも関連製品、衛生雑貨品では額用冷却シート「熱さまシート」や冷却ジェルマット「熱さまひんやりジェルマット」などの暑さ対策製品が苦戦し、売上は前年を下回りました。また、芳香消臭剤の主力ブランドであるトイレ用芳香消臭剤「サワデー」や、水洗トイレ用芳香洗浄剤「ブルーレット」などの売上が不調で、芳香消臭剤の売上も前年を下回りました。

その結果、売上高は52,342百万円と前年同期と比べ2,501百万円(△4.6%)の減収、セグメント利益(経常利益)は8,038百万円と前年同期と比べ2,229百万円(△21.7%)の減益となりました。なお、営業利益は8,056百万円と前年同期と比べ2,457百万円(△23.4%)の減益となりました。

(売上高の内訳)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品	11,814	21.6	11,611	22.2	△203	△1.7
口腔衛生品	7,900	14.4	8,002	15.3	101	1.3
衛生雑貨品	7,975	14.5	7,262	13.9	△712	△8.9
芳香・消臭剤	16,225	29.6	15,719	30.0	△506	△3.1
家庭雑貨品	2,348	4.3	2,203	4.2	△145	△6.2
食品	4,682	8.5	3,984	7.6	△697	△14.9
カイロ	3,896	7.1	3,558	6.8	△337	△8.7
合計	54,843	100.0	52,342	100.0	△2,501	△4.6

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第2四半期連結累計期間では計1,579百万円、当第2四半期連結累計期間では計1,359百万円となっております。

## 通信販売事業

当事業では、栄養補助食品、スキンケア製品等の通信販売を行っており、広告展開やダイレクトメールを中心とした積極的な販売促進による、新規顧客の開拓と既存顧客への購入促進に努めました。

化粧品「ヒフミド」や育毛液「アロエ育毛液」については堅調に売上を伸ばしましたが、売上の大半を占める栄養補助食品は苦戦しました。

その結果、売上高は4,917百万円と前年同期と比べ40百万円（△0.8%）の減収、セグメント損失（経常損失）は123百万円と前年同期と比べ77百万円の減益となりました。なお、営業損失は125百万円と前年同期と比べ78百万円の減益となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

## 医療関連事業

当事業では連結子会社の小林メディカル株式会社市場の拡大が見込まれる整形外科領域、手術室関連領域に特化する選択と集中をはかりました。なお、平成24年5月31日付けで、同社株式の80%を三菱商事株式会社に譲渡したため、同社は連結子会社から持分法適用関連会社となり、平成24年11月1日付けで、日本メディカルネクスト株式会社に社名を変更しております。

また、イーベント社については、昨年7月31日付けで、MBO方式により全株式を譲渡しております。

その結果、売上高は1,811百万円と前年同期と比べ3,505百万円（△65.9%）の減収、セグメント利益（経常利益）は555百万円と前年同期と比べ286百万円（106.3%）の増益となりました。なお、営業利益は15百万円（前年同四半期は営業損失45百万円）となりました。

（売上高の内訳）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）		増減	
	金額 （百万円）	構成比 （%）	金額 （百万円）	構成比 （%）	金額 （百万円）	増減率 （%）
小林メディカル	4,395	82.7	1,296	71.6	△3,098	△70.5
イーベント社	427	8.0	—	—	△427	—
その他	494	9.3	514	28.4	20	4.2
合計	5,316	100.0	1,811	100.0	△3,505	△65.9

（注）売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

## その他事業

上記の3事業をサポートする当事業（運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等）では、各社が独立採算で経営をしているものの、主要3事業への利益貢献もその目的としており、資材やサービス提供についてその納入価格の見直しを適宜行いました。

その結果、売上高は3,370百万円と前年同期と比べ148百万円（4.6%）の増収、セグメント利益（経常利益）は591百万円と前年同期と比べ33百万円（△5.3%）の減益となりました。なお、営業利益は293百万円と前年同期と比べ3百万円（1.3%）の増益となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第2四半期連結累計期間では計2,737百万円、当第2四半期連結累計期間では計2,829百万円となっております。

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ399百万円減少し、147,490百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少（12,088百万円）、有価証券の減少（3,498百万円）、商品及び製品の増加（1,402百万円）、投資有価証券の増加（14,948百万円）等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ6,401百万円減少し、39,609百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少（1,013百万円）、未払金の減少（2,547百万円）、未払法人税等の減少（889百万円）、流動負債のその他の減少（381百万円）、退職給付引当金の減少（472百万円）等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ6,001百万円増加し、107,880百万円となり、自己資本比率は73.1%となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（5,359百万円）によるものです。

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は2,077百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が10,802百万円、子会社株式売却益が2,285百万円、たな卸資産の増加額が3,123百万円、未払金の減少額が2,438百万円、法人税等の支払額が4,701百万円によるものです。

#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は20,571百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が12,500百万円、有価証券の取得による支出が16,495百万円、有価証券の売却(償還)による収入が20,500百万円、投資有価証券の取得による支出が14,569百万円によるものです。

#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は1,957百万円となりました。これは主に、配当金の支払額が1,759百万円、リース債務の返済による支出が192百万円によるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末より24,588百万円減少し18,247百万円となりました。

#### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月1日付け公表の「平成24年3月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	42,835	30,747
受取手形及び売掛金	32,113	31,749
有価証券	11,004	7,506
商品及び製品	9,505	10,908
仕掛品	457	477
原材料及び貯蔵品	2,049	2,171
繰延税金資産	3,287	3,101
その他	1,353	1,142
貸倒引当金	△69	△44
流動資産合計	102,538	87,759
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,064	5,950
機械装置及び運搬具（純額）	2,159	2,129
工具、器具及び備品（純額）	1,049	936
土地	3,468	3,468
リース資産（純額）	788	529
建設仮勘定	98	363
有形固定資産合計	13,628	13,378
無形固定資産		
のれん	3,592	3,531
商標権	513	432
ソフトウェア	884	872
リース資産	46	24
その他	249	245
無形固定資産合計	5,287	5,105
投資その他の資産		
投資有価証券	19,131	34,079
長期貸付金	600	1,010
繰延税金資産	1,302	916
投資不動産（純額）	3,103	3,085
その他	2,455	2,299
貸倒引当金	△154	△144
投資その他の資産合計	26,437	41,247
固定資産合計	45,352	59,730
資産合計	147,890	147,490

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,823	11,810
短期借入金	5	0
未払金	14,669	12,122
リース債務	391	332
未払法人税等	4,497	3,608
未払消費税等	382	375
返品調整引当金	1,038	802
賞与引当金	2,095	1,844
資産除去債務	13	10
その他	1,873	1,492
流動負債合計	37,791	32,397
固定負債		
リース債務	483	260
退職給付引当金	5,312	4,839
役員退職慰労引当金	17	17
資産除去債務	87	72
その他	2,318	2,021
固定負債合計	8,220	7,211
負債合計	46,011	39,609
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	4,219	4,219
利益剰余金	101,127	106,486
自己株式	△4,702	△4,703
株主資本合計	104,094	109,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,998	2,414
繰延ヘッジ損益	△323	△121
為替換算調整勘定	△4,050	△3,866
その他の包括利益累計額合計	△2,374	△1,573
新株予約権	159	—
少数株主持分	—	1
純資産合計	101,879	107,880
負債純資産合計	147,890	147,490



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	64,023	58,253
売上原価	26,066	23,553
売上総利益	37,956	34,699
販売費及び一般管理費	27,245	26,461
営業利益	10,710	8,237
営業外収益		
受取利息	70	88
受取配当金	115	128
受取ロイヤリティー	225	252
不動産賃貸料	136	137
持分法による投資利益	116	303
その他	280	163
営業外収益合計	945	1,074
営業外費用		
支払利息	27	23
売上割引	538	335
不動産賃貸原価	37	37
為替差損	49	61
その他	41	22
営業外費用合計	694	480
経常利益	10,961	8,830
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	187
子会社株式売却益	—	2,285
受取保険金	25	—
その他	0	164
特別利益合計	27	2,638
特別損失		
固定資産除売却損	48	18
投資有価証券評価損	—	618
投資損失引当金繰入額	25	—
子会社株式売却損	604	—
子会社清算損	0	—
減損損失	1	14
災害による損失	35	—
その他	2	16
特別損失合計	717	667
税金等調整前四半期純利益	10,270	10,802
法人税、住民税及び事業税	3,811	3,820
法人税等調整額	309	△138
法人税等合計	4,120	3,682
少数株主損益調整前四半期純利益	6,149	7,120
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	0
四半期純利益	6,150	7,120

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,149	7,120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	172	415
繰延ヘッジ損益	△401	22
為替換算調整勘定	162	183
持分法適用会社に対する持分相当額	166	178
その他の包括利益合計	99	801
四半期包括利益	6,249	7,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,250	7,921
少数株主に係る四半期包括利益	△0	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,270	10,802
減価償却費	1,324	1,234
のれん償却額	298	174
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△278	△33
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△11	17
受取利息及び受取配当金	△185	△217
支払利息	27	23
持分法による投資損益(△は益)	△116	△303
子会社株式売却損益(△は益)	604	△2,285
固定資産除売却損益(△は益)	47	17
投資損失引当金繰入額	25	—
売上債権の増減額(△は増加)	△4,084	△1,030
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,358	△3,123
仕入債務の増減額(△は減少)	782	△353
未払金の増減額(△は減少)	539	△2,438
未払消費税等の増減額(△は減少)	△198	15
その他	61	△58
小計	5,748	2,440
利息及び配当金の受取額	687	205
利息の支払額	△21	△21
法人税等の支払額	△2,497	△4,701
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,917	△2,077
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△12,500
有価証券の取得による支出	△19,995	△16,495
有価証券の売却(償還)による収入	20,500	20,500
有形固定資産の取得による支出	△799	△1,014
有形固定資産の売却による収入	12	40
無形固定資産の取得による支出	△200	△217
投資有価証券の取得による支出	△516	△14,569
投資その他の資産の取得による支出	△116	△149
投資その他の資産の売却による収入	45	33
長期貸付けによる支出	△37	△440
長期貸付金の回収による収入	56	32
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	4,024
その他	△40	185
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,091	△20,571

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△10	△4
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	0	—
配当金の支払額	△1,350	△1,759
リース債務の返済による支出	△247	△192
その他	—	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,609	△1,957
現金及び現金同等物に係る換算差額	△80	17
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,136	△24,588
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1	—
現金及び現金同等物の期首残高	31,963	42,835
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,097	18,247

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	家庭用 品製造 販売	通信 販売	医療 関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	53,264	4,958	5,316	63,539	484	64,023	—	64,023
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,579	—	—	1,579	2,737	4,317	△4,317	—
計	54,843	4,958	5,316	65,119	3,221	68,341	△4,317	64,023
セグメント利益又は損失 (△)	10,267	△45	269	10,491	624	11,116	△154	10,961

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△154百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「医療関連事業」において、一部の事業領域で撤退を行ったことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの資産の金額は1,969百万円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	家庭用 品製造 販売	通信 販売	医療 関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	50,983	4,917	1,811	57,712	540	58,253	—	58,253
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,359	—	—	1,359	2,829	4,188	△4,188	—
計	52,342	4,917	1,811	59,071	3,370	62,442	△4,188	58,253
セグメント利益又は損失 (△)	8,038	△123	555	8,470	591	9,061	△230	8,830

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△230百万円は、セグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「医療関連事業」において、小林メディカル株式会社の株式の80%を譲渡したことなどにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの資産の金額は3,512百万円減少しております。

なお、小林メディカル株式会社は、平成24年11月1日付けで、日本メディカルネクスト株式会社に社名を変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。